

1. はじめに

1-1 背景

東郷町は、名古屋市と豊田市の間に位置する町で、将来都市像として「人・まち・みどり・ずっと暮らしたいとうごう」を掲げている。周辺都市のベッドタウンとして宅地開発が進んでおり、2006年には東郷創立100周年を迎え、更なる町の発展を目指してきた。

自然環境も豊かで、貯水池や水力発電の役割を兼ね備えた東郷調整池、通称愛知池が北部に位置しており、また、京松せせらぎの道は、愛知用水に「ふた」をした、水と緑の公園である。

産業では、農業が盛んである。町全体の約4分の1が農地で、米、白菜、いちじくが多く生産されており、できるだけ化学合成肥料を使わず堆肥で土作りをするなど、環境にやさしい有機農業を推進している。また、二つの工業団地もあり、自動車の部品が多く作られている。特産品開発にも力を入れており、「日本人を元気にする“愛2（あいあい）ブランド”」を展開して、お米のタルトやローゼルを使ったブランド食品などを生み出している。

地域の施設としては、町立の「イーストプラザいこまい館」があり、「遊びと学びの郷、自然・健康・文化の森」をコンセプトとしている。町立施設の他にも、県内最大級の商業施設「ららぽーと愛知東郷」や、自然に囲まれたカフェなど様々な町カフェが存在している。しかし、先に述べた愛知池運動公園などを含む町の施設の利用者数は少しずつ減少してきている。

こういった特徴を持つ東郷町では、「誰もが元気に暮らせるまち」などの6つの基本目標を掲げ、まちづくりにおいては、町の定住人口増加や町のにぎわいと働く場の創出などをねらいに、東郷セントラル地区に大型商業施設やバスターミナル、公共施設などを集約した「まちの中心核」を形成していくことで、“住んでよかった”と言えるまちを目指している。

人口動向をみると、ベッドタウン化によって1970年以降2030年までは増加が続くが、その後は緩やかな減少が見込まれており、2010年以降は、65歳以上が0～14歳を上回るなど、少子高齢化が進んできている。2020年の人口ピラミッドでは、4.3人に1人が65歳以上、8.5人に1人が75歳以上となっている。

東郷町の住民意識をとらえてみると、これからも「住み

続けたい」割合は、10代と20代で低い結果となっている。住み続けたい理由では、「住み慣れていて愛着がある」が最も多いが、年代別で見ると20～50代で低く、30代の子育て世代では特に低くなっている。また、まちの活気やにぎわいについては、町民の約9割が活気やにぎわいを感じていないという結果であった。

これらの結果から、10代や20代の若者、30代の子育て世代などに、町の魅力を知ってもらい、愛着をもって住み続けたいと思ってもらうこと、活気やにぎわいつくり何らかのかたちで貢献することが大切であると考えた。

1-2 目的

そこでこの研究では、まちの自然環境や特産品、地域施設などを活かし、まちへの愛着と定住志向につながるような町民向けの活動を企画、実施することにした。

具体的な内容は、東郷かるたの作成と児童館などを利用したかるた会の実施、スマホ等に貼り付けるシール提案と作成、これらの紹介やまちの魅力などのSNS発信である。

1-3 方法

研究の方法は、以下のとおりである。

①かるたと地図あそび（かるたと一緒に遊ぶ）作成のための情報収集、試作提案、意見収集、完成版作成、提供・配布、②シール作成の調査、試作提案、意見収集、完成版作成、提供・配布、③SNS発信のための情報・写真・資料収集、発信、意見収集、発信。

2. 諸活動の概要

2-1 活動の流れ

実施した活動は以下のとおりである。

- 3月15日 東郷町役場訪問（役場にてかるた項目の付加や削除部分についてアドバイスを受ける）
- 3月22日 役場への企画書作成（かるたイベントについて）
- 3月30日 役場訪問と企画書提出
- 4月24日 マザーハーツ訪問（『東郷チーズタルト』パッケージへのシール貼付等打ち合わせ）
Instagramアカウント開設
- 4月28日 現地調査（かるた・SNS等写真撮影）
- 5月8日 Tik Tok開設
- 5月25日 役場訪問と現地調査（かるた会打ち合わせ、かるた・SNS等写真撮影）
- 6月6日 現地調査（かるた・SNS等写真撮影）

6月30日 役場訪問(児童館でのかるた会実施打ち合わせ)
 9月6日 現地調査(役場打ち合わせ・SNS等写真撮影)
 10月4日 現地調査(かるた・SNS等写真撮影)
 10月9日 Instagramにてかるたへの意見収集
 10月12日 役場訪問(かるた会等打ち合わせ)
 10月14日 Instagramにてシールへの意見収集
 10月23日 ららぽーと愛知東郷訪問(LivRにて打ち合わせ) Instagramにてかるたへの意見収集
 10月28日 Instagramにてシールへの意見収集
 11月1日 北部児童館にかるたのサンプル提供
 Instagramにてカルタへの意見収集
 11月2日 かるたと地図あそび試作版印刷、企画情報課からの意見をもとにシール試作版印刷
 11月7日 北部児童館にてかるた会開催、意見収集
 11月11,12日 かるた・シール LivR 展示、意見収集
 11月29日 上記の意見収集を踏まえ、印刷原稿完成、かるたと地図あそび、シールを印刷依頼
 1月10日～ 印刷完成 各所へ提供・配布

2-2 活動内容と意見収集

①かるたと地図あそび、シール作成

「かるた」の作成においては、東郷町の魅力が伝わるように7つのジャンルを選定し、ジャンル別に項目を決め、読み札の作成と絵札の写真収集を行なった。読み札は、5・7・5となるように工夫した。絵札は、東郷町の現地調査で撮影した写真を加工した絵柄と、撮影が難しいものは画像をトレースして加工した絵柄の2種類を採用することとした。写真加工においては、東郷町の自然の魅力が伝わるような加工法を用いた。

かるたと一緒に遊ぶ「地図あそび」では、東郷町全体の形状を把握でき、かるたで取り上げた項目が、町内のどこに位置するのかを俯瞰して学べるような地図を作成することとした。かるたの絵札裏面を東郷町の地図とし、その絵札項目と関連する場所に☆印を付けて示した。その絵札を、B1の大きさの地図に置くことによって地域への理解を深めてもらう方式とした。

シールでは、9種類の題材を選定することとした。これらについて、まずは試作版を作成し、役場や児童館、LivRで意見収集した上で、意見を踏まえ修正を行い、完成版の原稿を作成し、印刷して、各所に提供・配布した。

②かるた会実施・展示・意見収集

かるたや地図あそび、シール作成にあたっては、東郷町役場企画情報課に項目や絵柄を提示して、項目の妥当性や改善点などについて助言を得た上で試作版を作成した。

作成した試作版を用いて、北部児童館にてかるた会を実施するとともに、ららぽーと愛知東郷内の LivR TOGO で

もかるた等の展示と意見収集を行い、「町に対する理解が深まった」「実際にかかるたで遊んでみたい」「シールを実際に使いたい」「シールは、ワンサイズではなく様々なサイズがあるとよい」などの意見を得た。



写真 2-1 北部児童館でのかるた会実施と意見収集



写真 2-2 LivR TOGO でのかるた等展示と意見収集

④SNS 発信と意見収集

4月に Instagram アカウント開設、5月に Tik Tok アカウント開設、投稿用写真撮影等を行い、順次投稿を続けた。また、10月と11月には、Instagramにて、かるたやシールデザインへの意見収集を行い、完成版作成の参考とした。

⑤かるた等の提供・配布

完成したかるた等は、児童館などに提供・配布した。

3. 完成版「東郷かるた」

3-1 題材の選定と特徴

題材は、歴史(赤)、文化(茶)、自然(緑)、農業(黄)、特産品(ピンク)、商業施設(紫)、暮らし(オレンジ)の7つに分類し、わかりやすいように色分けした(表3-1)。

3-2 完成版「東郷かるた」と地図あそび

「東郷かるた」の絵札例を分類別に紹介したい。

「歴史」では、「そ」の丹羽氏重は、安土桃山時代の武将で、豊臣秀吉軍・池田恒興らと戦うが16歳で討死した人物である(図3-1)。

「文化」では、「お」の富士浅間神社は、1000年以上の歴史を持ち、虫封じ、子どもの守り神として県内外から参拝客が多く訪れる神社、「れ」の町民レガッタは、漕艇場のある愛知池で開催される町主催の大会である(図3-2)。

「自然」では、「あ」の愛知池は、水路の水を管理するために造られた池で、貯水量は900万立方メートル、ランニングやウォーキングなどにも利用されており、「ま」

表 3-1 題材の選定

ジャンル	項目
歴史	丹羽氏重・町制施行 50 周年
文化	黒笹 7 号窯・富士浅間神社・裕福寺一里塚・町民レガッタ・文化産業まつり・東郷音頭
自然	愛知池・涼松せせらぎの道・名古屋ゴルフ倶楽部和合コース・境川緑地・もっこく/あやめ・上城さくら公園
農業	有機野菜・東郷軽トラ市・オーガニックビレッジ宣言・東郷農学校
特産品	味噌だれ・めこぼれ松・ローゼル・東郷チーズ・トッピーバターサブレ・飲むトマト酢・お米のタルト・東郷ファームトマロッソ・米粉のオムレット・愛2 あいあいブランド
商業施設	総合体育館・イーストプラザいこまい館・ららぽーと愛知東郷・LivR TOGO まちの窓口・デザインマンホール蓋
暮らし	じゅんかい君・セントラル開発・“人・まち・みどり・ずっと暮らしたいとうごう”・トッピー・子育て支援・にこにこ給食・消防団・ネイティブ先生・ちょうど級タウン・デマンドタクシー・立地(名古屋と豊田の間)

のもっこく/あやめは、町の木/花で、町内公募により制定されたもので、「り」の涼松せせらぎの道は、全長約 500メートル、散策路や水の中で遊ぶことのできるせせらぎや遊具がある水と緑の公園である（図 3-3）。

「農業」では、「け」の東郷軽トラ市は、町内産の採れたて野菜や果物などを生産者が直接販売し、地域活性化と地産地消を推進、「す」のオーガニックビレッジ宣言は、有機農業を推進し、美しい緑と潤いある子育て環境を次世代へ引き継ごうとする宣言、「ゆ」の有機野菜は、安心安全でより美味しい給食を目指して保育園給食や学校給食に採用、などである（図 3-4）。

「特産品」では、「え」のお米のタルトは、東郷町の若者や子どもたちに馴染みのある給食の大人気スイーツ、「せ」の愛2 あいあいブランドは、まちの特産品・民話・特色を活かした東郷町商工会が展開しているブランド、「ろ」のローゼルは、ローゼルジャムやローゼルアイスなどに使われているきれいな花が咲く植物、などである（図 3-5）。

「商業施設」では、「い」のイーストプラザいこまい館は、子どもからお年寄りまで幅広い年代が利用できるコミュニティ施設、「つ」の LivR TOGO まちの窓口は、図書



図 3-1 「歴史」絵札表「そ」 図 3-2 文化絵札表「お」「れ」



図 3-3 「自然」絵札表「あ」「ま」「り」



図 3-4 「農業」絵札表「け」「す」「ゆ」



図 3-5 「特産品」絵札表「え」「せ」「ろ」



図 3-6 「商業施設」絵札表「い」「つ」「る」

貸し出しや返却などの行政サービス、東郷町についてのセミナーや講習会など、多目的な用途に利用できるコミュニティスペース、「る」のららぽーと愛知東郷は、愛知県中部エリア最大級の大型商業施設、などである（図 3-6）。

「暮らし」では、「し」のじゅんかい君は、町内の病院や団地、主な施設に停車するなど町を駆け巡るバス、「ち」のセントラル開発は、商業施設の誘致やバスターミナルの整備など、町の中心核を形成し、魅力を高め、便利な町の実現を目指す施策、「ひ」のちょうど級タウンは、立地や住環境、子育てなどにおいて「ちょうどいい」暮らしやすさをアピールする取り組み、などである（図 3-7）。

絵札の裏面には、絵札の解説と、地図あそびに使えるように地図を挿入し（図 3-8）、読み札は、自然豊かな東郷町にふさわしいよう緑の枠とした（図 3-9）。

地図あそびは、かるたの項目にある特産品や商業施設などが東郷町の地図上のどこに位置するのかを遊びながら学んでもらえるように、それぞれの場所に☆マークを付けたもので、絵札を獲得した後に絵札の裏を見て☆マークの位置を確認し、B1 ほどの大きさの地図の☆マークにその絵札を置いて遊ぶ仕組みである（図 3-10）。

4. 完成版「東郷シール」

児童館でのかるた会や LivR での展示などによって収集した意見などを踏まえつつ、原案を修正しながら、「東郷シール」の作成を行った。豊かな自然に恵まれ、「水と緑とボートのまち」として全国に発信している東郷町ならではの場所や、町民に親しまれ愛されている施設等を題材に選び、9種類の「東郷シール」を作成した。

「涼松せせらぎの道」は、愛知用水に「ふた」をしてつくった水と緑の公園である（図 4-1）。

「上城さくら公園」は、長年愛され続けた上城保育園の跡地に造られた公園である。「こういう公園が欲しい」という意見を取り入れた際にできたバスケットゴールと、春には満開になる桜を用いた図柄とした（図 4-2）。

「祐福寺」は、浄土宗西山禅林寺派のお寺である。後奈良天皇の勅使を迎えるために造営された真っ赤な勅使門をはじめ、外観写真を4枚用いて作成した（図 4-3）。

「Nico café」は、東郷町にあるカフェの一つである。店内はドライフラワーを飾ったおしゃれな空間で、若い世代に人気なことから、Instagram 風に仕上げた（図 4-4）。

「愛知池」は、全長約 112km の「幹線水路」のほぼ中央部にあり、東郷町内でもっとも知られた自然環境なので、写真（図 4-5）と絵柄（図 4-6）の2種類を作成した。

「ららぽーと愛知東郷」は、2020（令和2）年9月に開業した愛知県中部エリア最大級の約 210 店舗を有した大型商業施設である。東郷町の花である「アヤメ」も取り入れ、若者から高齢者まで様々な世代に愛されていることを念頭に置いて作成した（図 4-7）。



図 3-7 「暮らし」絵札表「し」「ち」「ひ」



図 3-8 絵札裏「あ」「え」「い」



図 3-9 読み札「あ」「え」「い」

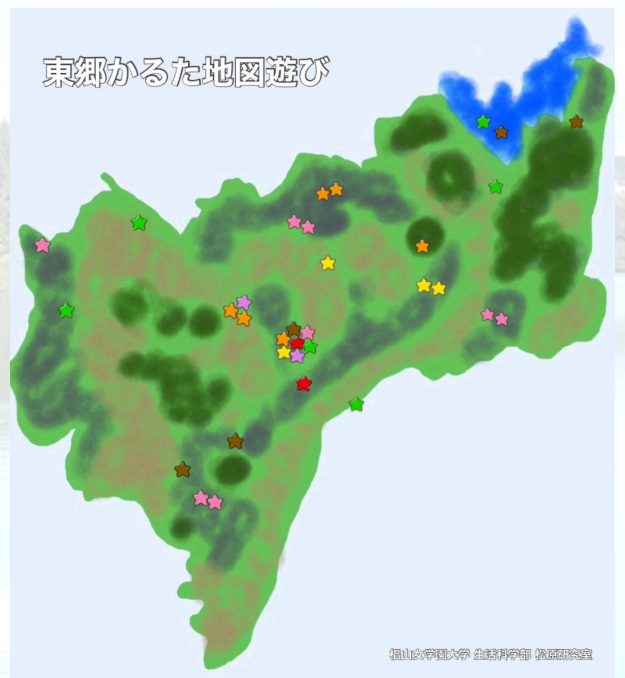


図 3-10 東郷かるた地図あそび

「パンと庭」は、空き家となっていた築 30 年の日本家屋を東郷町のリフォーム会社が入居し、リノベーションしたカフェ＆ベーカリーである（図 4-8）。



図 4-1 涼松せせらぎの道 図 4-2 上城さくら公園 図 4-3 祐福寺



図 4-4 nico café 図 4-5 愛知池 図 4-6 愛知池



図 4-7 たらぼーと愛知東郷 図 4-8 パンと庭 図 4-9 じゅんかい君

「じゅんかい君」は、東郷町で運行されているコミュニティバスである。町民に親しまれ愛されているじゅんかい君が停車する施設を4コママンガ風に仕上げた(図4-9)。



図 4-10 完成版東郷町シール

これらのシールを大・中・小3種類の大きさにしてA4用紙にレイアウトした(図4-10)。

5. SNS 発信

① 発信内容

発信内容は、東郷町の町の紹介、施設等、自然環境・公園・神社、飲食店、かるたの項目などに大別できる。

町の紹介は、「東郷町の基本情報」「ちょうど級タウン」「にこにこ給食」「英語教育」「通勤・通学」「じゅんかい君」「軽トラ市」「消防団」などである。

施設等は、「たらぼーと愛知東郷」「たらぼーと愛知東郷 LivR TOGO」「いこまい館」「いこまい館 昔体験館」「いこまい館 いこまいカフェ」「東郷町役場」「東郷町総合体育館」「東郷町民会館」「Toma ROSSO」などで(図5-1)、主な用途やアクセス方法、営業時間、詳細掲載リンクなどを必ず掲載した。

自然環境・公園・神社は、「愛知池」「涼松せせらぎの道」「祐福寺」「祐福寺 一里塚」「境川緑地」「上城さくら公園」「富士浅間神社」「恵日山観音寺」「狐塚南公園」などである(図5-2)。

飲食店は、「パンと庭」「nico cafe」「マザーハーツ」「ダフネ珈琲館」「ホテルショコラ」「マウントエベレスト」「グラノーラ専門店 GRANY」「レストラン東郷」「東郷町の飲食店を巡ったリール動画」などで(図5-3)、飲食店に関しては、お店の基本情報、アクセス方法、営業時間などを必ず掲載した。

かるたの項目は、「お米のタルト」「名古屋ゴルフ倶楽部和合コース」などである(図5-4)。

② 発信媒体

Instagram と Tik Tok で発信した。Instagram では、投稿内容が一目見てわかるように一枚目の画像を工夫して、内容が理解しやすいように画像枚数を多くするようにした。Tik Tok でも、表紙の画像に東郷町とお店の名前を書き入れ、一目でわかるようにした。Instagram の投稿と合わせて発信することによって、場所の規模感や雰囲気、魅力が伝わりやすくなった(図5-5)。

③ 閲覧者の反応

Instagram では、「nico café」を投稿したところ、お店から『わあー！嬉しいです ご紹介ありがとうございます◎』とのコメント、とうごうみらい歯科さんから『素敵な投稿で東郷町の魅力がすごく伝わります』とのコメントを得た。その他の取り上げた飲食店からも、『ご紹介いただきありがとうございます』やいいね！の反応があった。また、発信した投稿をお店がストーリー

で投稿することもあった。

Tik Tok では、「パンと庭」の投稿に対して総再生回数 37,600 回、全動画の総再生回数 83,059 回、総いいね! 数 460 など大きな反響が得られた（2024.1.8 現在）。

④ アクセス数（2024.1.8 現在）

Instagram アカウントは、投稿数 70、フォロワー数 131 人、いいね! 数 877、リーチ数 1,545 とインプレッション 8,076（2023.8.26 以降）である。フォロワーの居住地は愛知県愛知郡 28.7%、名古屋市 22.2%、日進市 10.1% など、年齢層は 35～44 歳 27.7%、18～24 歳 27.7%、25～34 歳 25.9%、45～54 歳 12.9% など、性別は女性 65% というように、主に、愛知郡近郊の 18～44 歳の女性に支持されていることがわかった。



図 5-1 施設等



図 5-2 自然環境・公園・神社



図 5-3 飲食店等



図 5-4 かるたの項目



図 5-5 Tik Tok での投稿

この企画が東郷町の地域活性化に寄与できることを願いたい。